



2022 FIA WORLD RALLY CHAMPIONSHIP ROUND 13

FORUM 8

RALLY JAPAN 2022

AICHI/GIFU 11.10 THU - 13 SUN



RALLY GUIDE 1



Title Partner



Gold Partner



Silver Partners



Bronze Partners



Official Supporters & Official Supplier



目次

1	ごあいさつ	3	9	ヘリコプター	
2	オーガナイザーの連絡先		9.1	登録手続	13
2.1	大会事務局	4	9.1	ヘリコプター事業者	13
2.2	主要役員	4	10	ホスピタリティの手配	13
2.3	ラリー本部(HQ)	4	11	宿泊手配	13
2.4	メディア連絡先	4	12	メディア	
3	プログラム		12.1	大会開始前の連絡先	14
3.1	大会開始前のスケジュール	5	12.2	取材申請	14
3.2	大会期間中のスケジュール	5	12.3	取材者証の種類	14
4	エントリー		12.4	個別パス(大会ごとのメディアパス)申請手続き	14
4.1	タイトル	7	13	医療とセーフティサービス	
4.2	エントリー基準と受付期間	7	13.1	緊急通報用電話番号	15
4.3	参加台数	8	13.2	医療サービス	15
4.4	車両クラス	8	13.3	ロードサービス	15
4.5	エントリーフィー(WRC選手権参加者)	9	13.4	薬局	16
4.6	エントリーフィー(ノンプライオリティ)	9	14	総合案内	
4.7	プライベートテスト	9	14.1	中部国際空港 セントレア	16
4.8	エントリーパッケージ(ノンプライオリティ)	10	14.2	鉄道	16
5	サービスパーク		14.3	国内輸送	16
5.1	サービスパークの場所と開設時間	10	14.4	タイムゾーン	16
5.2	サービスパークの設備	10	14.5	日の出/日の入	16
5.3	サービスパークへの燃料の持ち込み	11	14.6	平均気温/降水日数	16
6	無線	11	14.7	通貨	17
7	燃料/タイヤ		14.8	税金	17
7.1	FIA燃料	11	14.9	チップ	17
7.2	給油	11	14.10	電気	17
7.3	リモートリフューエルゾーン	11	14.11	携帯電話	17
7.4	安全燃料タンク	12	14.12	各国大使館	17
7.5	FIA燃料サンプル用カップリング	12	14.13	ビザ(査証)	17
7.6	タイヤ	12	14.14	新型コロナウイルス感染症に伴う入国制限について	17
8	車両と部品の日本への持ち込みと運転に必要な手続き	13	14.15	新型コロナウイルス感染症対策	17

本書類は案内書として作成されたものであり、規則的な効力はありません。

1 ごあいさつ

この度は、愛知県、岐阜県をはじめ岡崎市、豊田市、新城市、設楽町、中津川市、恵那市の各自治体の皆様のご理解とご協力を得ることができ、念願のWRC開催が実現の運びとなりました。COVID-19感染拡大により中止を余儀なくされてまいりましたが、フォーラムエイト・ラリージャパン2022の主催者であるトヨタ・モータースポーツ・クラブ(TMSC)の代表者として、ようやくラリージャパンがWRCに加わり、日本の地で開催できるようになりましたことを大変喜ばしく思っております。

TMSCは1964年に設立された歴史あるモータースポーツクラブです。日本自動車連盟に初めて公認されたクラブでもあります。そのTMSCの歴史の1ページに世界選手権の開催が加わることは大変な名誉です。

今、世界の状況は、我々の想像以上に厳しいものとなり、多くの人の夢や希望は不安や恐怖との戦いとなってしまっています。そのような中でも我々ができることは、モータースポーツを通じ、新たなる期待と活力と希望を生み出すことです。このイベントを開催することで、モータースポーツを愛する人々がひとつとなり、多くの感動をお届けできるよう精力を注いでまいりたいと思います。そしてその喜びが次の世代にも引き継がれていくことを期待します。

関谷正徳

ラリージャパン組織委員長
TMSC会長



2020年、2021年はコロナ禍の影響で中止を余儀なくされたWRC日本ラウンドですが、皆様のお力添えによりいよいよ2022年大会の開催実現に向けた準備が整いつつあります。世界中のラリー関係者、そして観客の皆様をお招きするために、各省庁の皆様、愛知県と岐阜県をはじめ関係自治体の皆様には、これまで多くのご指導とご協力を賜りました。この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、日本はこれまでのモータースポーツ史のなかで、WRCへの大きな関りを持って参りました。過去に6度のWRCが北海道で開催されましたが、三菱とスバルの活躍、そして観衆の熱狂は今でもラリーファンの記憶に新しいことでしょう。そして現在、TOYOTA GAZOO Racingがこの功績を受け継ぎ、HYUNDAI SHELL MOBIS WORLD RALLY TEAMやM-SPORT FORD WORLD RALLY TEAMを相手に熾烈な戦いを続けています。また勝田貴元選手は毎戦粘り強い走りを発揮し、世界中にインパクトを与え続けています。

そんな彼らが、日本の中心であり、自動車産業の聖地である愛知県と岐阜県にいよいよ凱旋します。2022年のWRC最終戦「フォーラムエイト・ラリージャパン2022」で、どんな戦いが繰り広げられるか、今から楽しみでなりません。この大会が、選手や関係者の皆様にとって、そして観客の皆様にとって満足のいくものとなるよう、そしてコロナ禍の沈滞したムードを払拭し、世界中の皆様にも元気と勇気を与えられるよう、大会主催者として尽力して参ります。

鈴木 賢志

ラリージャパン実行委員会会長
株式会社サンズ 代表取締役





2 オーガナイザーの連絡先

2.1 大会事務局

ラリージャパン事務局：	株式会社サンズ内 〒163-1126 東京都新宿区西新宿6-22-1 新宿スクエアタワー26F TEL:03-6773-5635
スポンディングオフィス：	NPO法人MOSCO 〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町2458-13 TEL:027-386-4365 ※電話は日本語のみです。 FAX:027-386-4375
E-Mail：	entry@rally-japan.jp ※国内エントラントからのお問い合わせ info@rally-japan.jp ※ホスピタリティや宿泊に関するお問い合わせ rjentrant@rally-japan.jp ※海外からのお問い合わせ
ウェブサイト：	https://rally-japan.jp
ツイッター：	@2020rallyjapan
フェイスブック：	https://www.facebook.com/2020rallyjapan

2.2 主要役員

実行委員会会長：	鈴木 賢志 suzuki@rally-japan.jp
コミュニケーション・マネージャー：	佐藤 博之 hiro@iltempo.co.jp
競技長：	高桑春雄 h-takakuwa@rally-japan.jp

2.3 ラリーHQ

スカイホール豊田
〒471-0861 愛知県豊田市八幡町1-20
TEL: TBC
E-Mail: info@rally-japan.jp
ラリーHQは11月7日(月)から11月14日(月)まで運営される予定です。また11月5日(土)と6日(日)は、豊田スタジアムのサービスパークにサブHQを設置いたします。オープン時間については、オフィシャルプログラムをご確認ください。

2.4 メディア連絡先

網谷 朗(ナショナル・プレス・オフィサー)
E-Mail: media@rally-japan.jp

3 プログラム

3.1 大会開始前のスケジュール(時間はすべて日本標準時(JST))

8月12日(金)
FIA 燃料のオーダー締切
8月16日(火)
無線免許の申請とヘリコプター登録の締切
8月29日(月)
ピレリタイヤの注文締切
9月5日(月)
メディア申請受付開始
9月6日(火)
エントリー開始 特別規則書の公開(ホームページ)
9月8日(木)
ビザ申請に必要な来日者リストの締め切り(Art.4.2 参照)
10月11日(火)
エントリー締切 レッキのみの参加登録締切 ラリーガイド2 発行
10月17日(月)
エントリーリスト公開
10月19日(水)
ラリージャパン ナショナルプレスオフィサーへのメディア申請締切
10月26日(水)
FIA メディアデレゲートへのメディア申請締切

3.2 大会期間中のスケジュール

11月4日(金)		
12:00	サービスパーク・オープン(プライオリティチーム)	豊田スタジアム
11月5日(土)		
07:00	サービスパーク・オープン(全参加者)	豊田スタジアム
08:00 - 20:00	ラリーHQ オープン(サブ HQ)	豊田スタジアム
11月6日(日)		
08:00 - 20:00	ラリーHQ オープン(サブ HQ)	豊田スタジアム
09:00 - 15:00	プライベートテスト	焙烙林道
13:00 - 19:00	参加確認	サブラリーHQ- サービスパーク
13:00 - 19:00	レッキ用 GPSトラッキング装置の配布	SAS オフィス - サービスパーク

11月7日(月)		
06:00 - 16:30	レッキ1日目	
08:00 - 20:00	ラリーHQ オープン	スカイホール 豊田
15:00 - 19:00	レッキ用 GPSトラッキングデータ収集	SAS オフィス - サービスパーク
11月8日(火)		
06:00 - 16:30	レッキ2日目	
08:00 - 20:00	ラリーHQオープン	スカイホール 豊田
12:00	ルートノート車受付終了(P1 クルーのみ)	ラリーHQ
14:00 - 20:00	メディアセンター・オープン/メディア受付	豊田スタジアム
15:00 - 18:30	レッキ用 GPSトラッキングデータ収集	SAS オフィス - サービスパーク
11月9日(水)		
06:00 - 15:30	レッキ3日目	
08:00 - 21:00	ラリーHQオープン	スカイホール 豊田
08:00 - 18:00	メディアセンター・オープン/メディア受付	豊田スタジアム
09:00 - 12:00	Rally1 車両の公式車検&シーリング	サービスパーク
14:00 - 19:00	その他の車両の公式車検&シーリング	豊田スタジアム
15:00 - 18:30	レッキ用 GPSトラッカーの返却	SAS オフィス - サービスパーク
16:00	WRC チームマネージャー・ミーティング	記者会見場
17:00 - 17:30	フォトグラファーズ・ブリーフィング	メディアセンター
19:00	ドライバーズセーフティブリーフィング(指名ドライバーのみ)	記者会見場
20:00	シェイクダウン・スタートリスト公開	デジタル掲示板
11月10日(木)		
08:00 - 22:00	ラリーHQ オープン	スカイホール 豊田
08:00 - 22:00	メディアセンター・オープン	豊田スタジアム
08:00 - 18:00	メディア受付	メディアセンター
09:01 - 10:30	シェイクダウン - WRC P1 と指名ドライバー	鞍ヶ池公園
10:30 - 12:30	シェイクダウン - すべてのプライオリティドライバー	鞍ヶ池公園
11:30 - 13:00	シェイクダウン - ノンプライオリティドライバー参加可能	鞍ヶ池公園
14:00	FIA 記者会見	メディアセンター
15:00	セレモニアルスタートとセクション1のスタートリスト公開	デジタル掲示板
16:00	ヘリコプター・パイロット・ブリーフィング	ラリー本部
16:50	スタートセレモニー	豊田スタジアム
17:00	ラリースタート - セクション 1-A	豊田スタジアム
18:28	セクション1 終了	豊田スタジアム
11月11日(金)		
05:30 - 21:00	ラリーHQオープン	スカイホール 豊田
05:30	セクション 1-Bスタート	豊田スタジアム
05:30 - 22:00	メディアセンター・オープン	豊田スタジアム
19:00	スタートリストの公表 セクション4	デジタル掲示板

11月12日(土)		
05:30 - 21:00	ラリーHQオープン	スカイホール豊田
05:49	セクション4スタート	豊田スタジアム
05:30 - 22:00	メディアセンター・オープン	豊田スタジアム
20:00	スタートリストの公表 セクション7	デジタル掲示板
11月13日(日)		
06:00 - 20:00	ラリーHQオープン	スカイホール豊田
06:37	セクション7スタート	豊田スタジアム
06:30 - 21:00	メディアセンター・オープン	豊田スタジアム
14:18	パワーステージ	旭高原
15:00 - 19:00	ルートノートカーのGPSトラックの返却	SAS オフィス - サービスパーク
15:15	パワーステージ・セレモニー	旭高原 元気村
17:00	表彰式・賞品授与	豊田スタジアム
17:30	再車検	豊田スタジアム
17:30 - 19:00	セーフティGPSトラックの返却	SAS オフィス - サービスパーク
17:45	FIA 記者会見	メディアセンター
19:30	暫定結果発表	デジタル掲示板
11月14日(月)		
08:00 - 12:00	ラリーHQオープン	スカイホール豊田

4 エントリー

4.1 タイトル

FIA世界ラリー選手権ドライバー/コドライバー部門
 FIA世界ラリー選手権マニファクチャラーズ部門
 FIA世界ラリー選手権チーム部門
 FIA WRC2 オープン選手権 ドライバー/コドライバー部門
 FIA WRC2 チーム選手権
 FIA WRC2 ジュニア選手権 ドライバー/コドライバー部門
 FIA WRC2 マスターズカップドライバーズ&コドライバーズ
 FIA WRC3 オープン選手権 ドライバー/コドライバー部門
 FIA WRC3 チーム選手権

4.2 エントリー基準と受付期間

フォーラムエイト・ラリージャパン2022への参加を希望する方は、[FIA公式ウェブサイト](#)に掲載されている電子エントリーフォームに必要事項を記入の上、エントリー締切日までに提出してください。電子フォームを送信することにより、競技者は本大会の規則および規定を遵守したとみなされます。また、参加者は、現地の参加受付でエントリーフォームへの署名を求められます。エントリー締め切りは日本時間10月11日(火)17:00(UTC +9時間)です。

ナショナルクラスの参加希望者は上記とは別のフォームでのエントリーとなります。当該フォームはエントリー開始日にフォーラムエイト・ラリージャパンのウェブサイトを確認してください。

4.3 参加台数

参加台数の上限は60です。エントリー数が上限を上回った場合、オーガナイザーは当該上限台数を増やす権利およびノンプライオリティドライバーの中から参加可能なエントリーを決定する権利を有します。参加車両は、2022年FIA WRC競技規則第12条4項記載のとおり各クラス(およびグループ)に振り分けられます。

4.4 車両クラス

A) 2022年FIA WRC競技規則第12条4項「車両クラス」

クラス	グループ	
RC1	World Rally Cars: 1.6ℓターボエンジン	<ul style="list-style-type: none"> - 2022年付則J項第262条に準拠したRally 1車両 - 2021年付則J項第255条Aに準拠したワールドラリーカー。255条Aに準拠し、ドライバーが過去5シーズンにおいてWRCマニファクチャラーチームでポイントを獲得していない場合(第5条3に規定するWRCチームでない場合) - 2013年12月31日以前に公認されたワールドラリーカーで、100/01KSR追加公認、さらにWR追加公認、および2013年付則J項第255条に準拠したもの。2016年12月31日以前に発行されたFIAパスポートを持つWRCカーが認められる - 2014年1月1日以降に公認され、200/01WRCにて追加公認されワールドラリーカーおよび2016年の付則J項第255条Aおよび、2016年12月31日以前に発行されたFIAパスポートを持つWRCカーだけが認められる - 2015年1月1日以降に公認され、300/01WRC追加公認および、2016年付則J項第255条Aおよび2016年12月31日以前に発行されたFIAパスポートを持つWRCカーだけが認められる
RC2	Group Rally2 Group Rally2 Kit	<ul style="list-style-type: none"> - 2022年付則J項第261条に準拠したグループラリー2車両 - 2022年付則J項第260条Eに合致したRally2キットカー
RGT	RGT cars	<ul style="list-style-type: none"> - 2019年付則J項Art.256に準拠したグループRGT車 - 2022年付則J項Art.256に準拠したグループRGT車両
RC3	Rally3(排気量1390cc以上2000cc以下及び927cc以上1620cc以下のターボ)	<ul style="list-style-type: none"> - 2021年1月1日以降に公認され、2022年付則J項第260条に適合しているグループRally3車両
RC4	Rally4(排気量1390cc以上2000cc以下または927cc以上1333cc以下のターボ)	<ul style="list-style-type: none"> - 2019年01月01日以降に公認され、2021年付則J項第260条に適合しているグループRally4車両 - 2018年12月31日以前に公認されたグループR2車両で、2018年付則J項Art.260に適合している車両
	R3(排気量1600cc以上2000cc以下または1067cc以上1333cc以下のターボ)	<ul style="list-style-type: none"> - 2019年12月31日以前に公認され、2019年付則J項第260条に適合しているグループR車両
	R3(排気量1620cc以上のターボ)	<ul style="list-style-type: none"> - 2019年12月31日以前に公認され、2019年付則J項第260条に適合しているグループR車両
RC5	Rally5(排気量1600cc以下または1333cc以下のターボ)	<ul style="list-style-type: none"> - 2019年1月1日以降に公認され、2022年付則J項第260条に適合しているグループRally5車両
	Rally5(排気量1600cc以下または1067cc以下のターボ)	<ul style="list-style-type: none"> - 2018年12月31日以前に公認され2018年付則J項第260条に適合しているグループR1車両



㊦ ナショナルクラス車両/リージョナルカー

JAFによる承認を受けFIAへの申し出がなされた車両は第12条3項に基づきエントリーできる。これらの車両は、2022年FIA国際モータースポーツ競技規則付則J項第253条で定められた**安全要件を完全に満たしており**、また、および2022年WRC競技規則で定められた関連するすべての条項(タイヤ、バーコード、再スタート規定等)に合致していなければなりません。

クラス	グループ	
JRCar1	2000cc以上	-2000ccを超えるグループNR4車両(現行のN4車両) -AP4車両 -2000ccを超えるRJカテゴリー車両(JAF規則)
JRCar2	1601cc以上 2000ccまで	-1601ccを超え2000ccまでのグループN4車両 -RJカテゴリー車両(JAF規定)/2WDターボ/942ccを超1600ccまでの車両/公称
JRCar3	1600ccまで	-1600ccまでのRJカテゴリー(JAF規定)

4.5 エントリーフィー(WRC選手権参加者)

WRCプロモーターと株式会社サンズとの合意により、フォーラムエイト・ラリージャパン2022は、WRC選手権(FIA WRC競技規則に定めるWRC、WRC2、WRC3)の参加選手を含むメーカーおよびWRCチームの参加費は免除されます。

4.6 エントリーフィー(ノンプライオリティ)

以下の料金はすべて消費税10%込み

エントリーフィー	450,000円
レッキのみ	100,000円
補助車両用プレート(1枚)	50,000円

4.7 プライベートテスト

テストランは、以下の要領で実施します。

開催日: 2022年11月6日(日)9:00~15:00

開催地: Houroku

参加資格: クラスRC1にエントリーしている者を除く希望参加者。

料金: 1台につき50,000円(税込)。プライオリティドライバーは料金免除となります。

※詳細とお申し込みは、ラリーガイド2をご覧ください。

4.8 エントリーパッケージ（ノンプライオリティ）

車両プレート	サービス	1
	補助車両	1
アドミニストレーション	レギュレーション	ラリージャパンのホームページにて公開
	ラリーガイド2	ラリージャパンのホームページにて公開
	ロードブックセット	2
	ルートマップ	2
	公式プログラム	5
バス	ドライバー/コドライバー	2
	チームゲスト	1 (SS観戦エリアへのアクセス可能)
	チームメンバー	5 (SS観戦エリアへの立ち入り不可)

5 サービスパーク

5.1 サービスパークの場所と開設時間

サービスパークは、豊田スタジアムに設置され、GPS座標は以下の通りです。

N35 05 04.4 E137 10 15.4

サービスパークの最終的なレイアウトや詳細情報については、順次フォーラムエイト・ラリージャパン2022のホームページで公開します。

サービスパークへのアクセスは、プライオリティドライバー/チームが11月4日(金)12:00より、ノンプライオリティドライバー/チームは11月5日(土)7:00からです。

フレキシサービスは、2022年FIA WRC競技規則第59条に基づき、各日の最終サービス時に適用されます。

5.2 サービスパークの設備

サービスパーク周辺の各所では、以下のような施設やサービスが提供される予定です。

- ・トイレ
- ・廃棄物回収(※国内参加者は各自ゴミはお持ち帰りください)
- ・照明器具(一部)

以下のものは、事前のリクエストにより有償で提供いたします。

- ・専用トイレ
- ・有害廃棄物回収
- ・専用警備
- ・電話及び専用インターネット回線
- ・電源(100ボルト、60ヘルツ)
- ・飲料水
- ・テントほか各種事務用品

ご注文は、フォーラムエイト・ラリージャパン2022のホームページ内「サービスパーク施設注文フォーム」をご利用ください。

また、各競技者にはサービスパーク内で以下のエリアが提供されます。

- ・WRCのエントラントは FIA WRC競技規則付則VIIにて定められた大きさ
- ・ノンプライオリティサービスベイは5m×7.5m、または合意した内容

5.3 サービスパークへの燃料の持ち込み

サービスパークへの燃料の持ち込みは、日本の消防法で定めるとおり、1チームあたり40リットル以下(発電機用を含む)とします。

6 無線

日本では、双方向無線(Two-way Radio)の使用が厳しく規制されています。双方向無線通信機器の使用を希望される方は、8月16日(火)までにラリージャパン事務局(entry@rally-japan.jp)までご連絡ください。無線機の周波数、型番、送信出力などの仕様が必要です。

7 燃料/タイヤ

7.1 FIA燃料

2022年からの新しいFIA燃料サプライヤーは、P1 Racing Fuelsとなりますのでご注意ください。全てのプライオリティドライバーはFIA燃料の使用が義務付けられています(FIA WRC競技規則第62条1.1)。ノンプライオリティドライバーは、FIA燃料または主催者が指定するガソリンスタンドの市販燃料の使用を選択することができます。

P1 Racing Fuel を使用したことがない競技者は、車両がこの燃料に適合していることを確認すること(エンジンのマッピングなど)。また、P1 Racing Fuelsは、すべての競技者に対し、技術的な事項に関する公式文書を十分に確認するよう促しています。<https://bit.ly/3H8tGVD>。また、使用するオイルについては、自動車メーカーにお問い合わせください。

大会13週間前(2022年8月12日(金))までに、サプライヤーであるP1 Racing Fuels社(<https://bit.ly/3wChFTe>)に、必要な燃料を通知してください。

P1 Racing Fuelsのお問い合わせ先: info@p1racingfuels.com

7.2 給油

FIA燃料は、ロードブックに記載された指定燃料補給ゾーン(RZ)のみで給油することが可能です。

(サービスパーク及び下記7.3に記載された3カ所のリモートリフューエルゾーン)

ノンプライオリティドライバーは市販の燃料を使用することができます。この燃料は、ロードブックに記載されているガソリンスタンドにて競技車両に直接給油されなければなりません。

7.3 リモートリフューエルゾーン

以下3カ所のリモートリフューエルゾーンが設定される予定です。

- ・11月11日(金) SS3、SS6走行後
- ・11月12日(土) SS9、SS12走行後
- ・11月13日(日) SS17走行後

7.4 安全燃料タンク

全ての車両は、FIA国際モータースポーツ競技規則付則J項第253条14項に定めるFIA公認の安全燃料タンクの装着が義務付けられています。FIAテクニカルリストNo.1も併せて参照のこと。
www.fia.com/regulation/category/761

燃料タンクには、FIA指定の給油カップリングを装着しなければなりません。FIA WRC競技規則第62条3項2を参照のこと。燃料タンクがトランクにあり、コックピットとの間に防火隔壁があるノンプライオリティドライバーの競技車両は、一般の給油ポンプから直接給油するために一般的なキャップを装着することができます。

ポンプ燃料を使用するノンプライオリティドライバーは、FIA WRC競技規則 第 62 条 3項7を参照のこと。FIA規定に基づく給油カップリング装着車で市販のポンプ燃料を使用する場合は、給油アダプター(漏斗)を車載のうえ車検時に確認を受けなければなりません。

7.5 FIA燃料サンプル用カップリング

FIAプライオリティドライバーの車両は、FIA燃料サンプルカップリングを装着しなければなりません。FIA WRC競技規則第62条3項5およびFIAテクニカルリストNo.5を参照のこと。

7.6 タイヤ(路面:ターマック)

全ての競技者は、使用可能なタイヤに関して、2022年WRC競技規則第13条を遵守するようお願いいたします。

FIAは、2022年WRC世界ラリー選手権のタイヤサプライヤーを以下の通り指定しています。

Pirelli Pneumatici S.p.A.

Viale Piero e Aberto Pirelli n. 25 I-20126 Milano

Italy Website: www.pirelli.com

連絡先: Mr.Terenzio Testoni

電話番号: +39(0)335 1227 136

E-Mail: terenzio.testoni@pirellif1.com

4WD車で出場する選手は、ピレリの供給するタイヤを使用しなければなりません(ナショナルクラスに出場する4WD車も同様)。

2WD 車の場合、タイヤメーカーは自由に選択できますが、2022年WRC競技規則第13条3項1条と第13条3項2を遵守しなければなりません。RGT車については、第13条4項1条および第13条4項2条を参照してください。

ピレリへのタイヤ発注は、遅くとも8月29日(月)までに、フォーラムエイト・ラリージャパン2022のウェブサイト上にあるフォームから行ってください。

8 車両と部品の日本への持ち込みと運転に必要な手続き

* 日本語版は記載しない

9 ヘリコプター

9.1 登録手続

ラリーのサポートとして飛行するすべてのヘリコプターは、主催者への事前登録が必要です。ラリー空域を管理するための標準的なプロトコルがあり、登録された航空機のみがこの空域を飛行することを許可されます。また、ヘリコプターの事前登録には登録料が課されます。着陸地点のスケジュールとGPS座標は後日公開され、そこにはスペシャルステージとサービスパークが含まれます。パイロットブリーフィングへの出席は全パイロットに義務付けられています。

ヘリコプターの登録申請の締め切り8月17日(火)18:00です。

お問い合わせ:entry@rally-japan.jp

9.2 ヘリコプター事業者

ラリージャパン事務局が推奨するヘリコプター事業者は以下のとおりです。

・朝日航洋株式会社

担当者(E-mail): 諏訪 賢一郎 kenichirou-suwa@aeroasahi.co.jp

・中日本航空株式会社

www.nnk.co.jp/en/

10 ホスピタリティの手配

VIP向けホスピタリティをご希望の方はラリージャパン事務局までご連絡ください。

11 宿泊手配

ラリージャパンのオフィシャル代理店はJTBです。宿泊手配、空港送迎の手配など、ラリージャパン競技参加者、およびラリージャパンに関係する皆さまの様々なニーズに対応します。(エントリーフィーに宿泊は含まれません)

日本国内からの宿泊予約は、以下のリンクからオンラインにて承っております。(日本語のみ)

<https://amarys-jtb.jp/rj2022/>

国外からの宿泊予約は、JTBビジネスネットワークまでご連絡ください。

E-mail:rally_travel@jtb.com

12.1 大会開始前の連絡先

FIA WRC Media Delegate: Vera Dussausaye

電話番号 : +41 22 544 45 48
 携帯電話 : +41 78 978 96 99
 E-Mail : vdussausaye@fia.com
 ウェブサイト : www.fia.com

ナショナル・プレス・オフィサー: 網谷 朗

電話番号 : TBA
 携帯電話 : TBA
 電子メール : media@rally-japan.jp
 ウェブサイト : <https://rally-japan.jp>

12.2 取材申請

フォーラムエイト・ラリージャパン2022のメディアによる取材申請とその来場は、COVID-19の世界的流行により引き起こされた特定の状況を考慮してFIAの確認対象となります。FIA、WRCプロモーター、フォーラムエイト・ラリージャパン2022主催者は運営基準の策定に取り組んでおり、詳細が決定次第公開されます。本大会の取材申請受付はこれ以降となりますが、取材を希望するメディアの代表者は、あらかじめ下記まで参加意思の表明をEメールで送信する必要があります。

- TVを除く国内メディアはナショナルプレスオフィサーへ media@rally-japan.jp
- TVを除く海外メディアはFIAメディアデリゲートへ(英文) vdussausaye@fia.com
- 国内及び海外TVメディアはWRC Promoterへ(英文) accreditation@wrc.com

12.3 取材者証の種類

取材者証(メディアパス)は、大会ごとのパスとパーマネントパスの2種類があります。大会ごとのパスは当該大会のみに有効な個別パスです。パーマネントパスは、シーズンを通して取材活動を行う者にFIAが発給する年間パスです。いずれも発給対象は報道関係者のみとなります

12.4 個別パス(大会ごとのメディアパス)申請手続き

日本国内の報道機関およびフリーランス(出版、ラジオ、ウェブサイトと取材委託契約を結んでいる方)は、9月5日(月)から10月19日(水)までの間にラリージャパンナショナルプレスオフィサー宛に申請してください。ガイドラインおよび申請フォームは、後日ラリージャパン公式サイトに掲載します。記入済み申請フォームは、補足書類と併せて media@rally-japan.jp までメールで提出することも可能です。

国内を拠点とするメディアのパス申請は、10月19日(水)までに行ってください。大会開催国以外に拠点を置く国際メディア(通信社、フォトエージェンシー、出版社、ウェブメディア)および国内通信社は、FIA AMSプラットフォーム(<http://wrc.ams.fia.com/>)から申請してください。申請にあたり、発行物またはエージェンシーの編集責任者の署名入り正式申請書、およびパス発給対象ジャーナリストやフォトグラファーの最近の業績を証明する発行物をアップロードする必要があります。電子メールによる書類添付はご遠慮ください。

国際的なラジオ、テレビメディアは、WRCプロモーター(accreditation@wrc.com)への申請となります。

フォーラムエイト・ラリージャパン2022に出場するチームのメディア関係者も、WRCプロモーター(accreditation@wrc.com)まで申請してください。

注:ウェブサイトは、1社につきジャーナリストパス1枚のみの発給となります。フォトグラファースは発給されません。

フォーラムエイト・ラリージャパン2022の取材申請とメディアの来場については、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)関連の規定に基づき条件が変更される場合があります。メディアを含む全ての来場者は、主催者が定める新型コロナウイルス対策の遵守を求められます。

新型コロナウイルス感染症対策における行政の指導、FIAの規定などを反映したフォーラムエイト・ラリージャパン2022の感染症対策ガイドラインは、開催前までに別途発行いたします。大会期間中に発行されるブルテン等も含めご確認いただき、その内容に沿った行動をお願いいたします。

13 医療とセーフティサービス

13.1 緊急通報用電話番号

救急車/消防車	119
警察	110

13.2 医療サービス

愛知医科大学病院
 住所: 愛知県長久手市岩作雁又1-1
 N35 11 29.4 E137 02 55.8
 TEL: 0561-62-3311
www.aichi-med-u.ac.jp/hospital/

岐阜大学医学部附属病院
 住所: 岐阜県岐阜市柳戸1-1
 N35 28 06.9 E136 44 01.1
 TEL: 058-230-6000
www.hosp.gifu-u.ac.jp

13.3 ロードサービス

スペシャルステージまたはリエゾン区間でロードサービスを利用した場合の費用はすべて競技参加者の負担となります。オーガナイザーが手配したサービスを利用した場合も同様です。

フォーラムエイト・ラリージャパン2022が推奨するロードサービス提供者は、以下の通りです。

JAFロードアシスト

TEL: 0570-00-8139(コールセンター)

13.4 薬局(サービスパーク周辺のドラッグストア)

	所在地(GPS座標)	電話番号	営業時間
V-ドラッグ豊田、拳母店	N35 05 02.0 E137 09 46.0	0565-37-8855	9:00 - 21:00
スギ薬局 陣中店	N35 05 40.0 E137 09 52.4	0565-85-8810	10:00 - 22:00
ドラッグスギヤマ 三郷店	N35 04 58.0 E137 10 52.1	0565-87-1171	10:00 - 21:00
B&D、豊田松ヶ枝店	N35 04 38.7 E137 09 34.1	0565-41-3303	10:00 - 21:00
スギ薬局 本宮店	N35 04 20.4 E137 09 49.0	0565-36-0160	9:00 - 22:00

14 総合案内

14.1 中部国際空港 セントレア (NGO)

愛知県西部の常滑市にある中部国際空港セントレアは、アジアのハブ空港のひとつとして国際線30路線、国内線19路線が就航しています。名古屋の中心部からのアクセスは車で40分、名鉄の快速電車は最短で28分です。

14.2 鉄道

国内鉄道網と公共交通機関が整備された名古屋は、新幹線で東京から約100分、大阪からは約50分と、各方面からのアクセスが非常に良い大都市です。豊田スタジアム(豊田市駅)までのアクセスは、[豊田スタジアムホームページ](#)をご覧ください。電車で約70~80分です。

中部国際空港 セントレアから豊田市駅までのシャトルバスも運行しています。所要時間は約80分。

14.3 国内輸送

フォーラムエイト・ラリージャパン2022が推奨する国内輸送会社はトランコム株式会社です。レース備品の輸送、保管など、フォーラムエイト・ラリージャパン2022競技参加者および関係者の皆様の物流に関する様々なニーズに対応します。

トランコム株式会社
TEL:052-387-6766
担当(E-mail): 羽仁哲之 t_hani@trancom.co.jp

14.4 タイムゾーン

日本のタイムゾーンは日本標準時(JST)で、UTC +9時間(11月)です。

14.5 日の出/日の入り

11月11日の 豊田市の日の出は6:22、日の入は16:49です。

14.6 平均気温/降水日数

最高気温19℃/最低気温7℃
11月の雨の日数: 平均5日(豊田市)

14.7 通貨

通貨は日本円(JPY/¥)です。紙幣と硬貨は簡単に識別できます。また1,000円、2,000円、5,000円、10,000円の紙幣と、1円、5円、10円、50円、100円、500円の硬貨があります。

1ユーロ=約142円 1US\$=約132円 1AUS\$=約96円 1ポンド=約167円(6月6日現在)。

諸外国に比べ、日本は現金決済が多いものの、主要クレジットカードは使用できる店舗が多く、ほとんどの大型商業施設やホテルではクレジットカードでの支払いが可能です。日本円への両替は、外国為替専門店、大型郵便局、国際空港、両替所のあるホテルやデパートなどで対応しています。

14.8 税金

消費税は10%です。店舗や商品によっては税抜き表示の場合があります。

14.9 チップ

日本にはチップの習慣はありません。

14.10 電気

日本の電圧は100ボルトです。愛知県の周波数は60Hzです。プラグは北米で使用されているものと同じです。

14.11 携帯電話

最新の携帯電話のほとんどは日本で使用できますが、一部の古い機種は通信方式の違いにより作動しない場合があります。なお、日本にはGSM方式の携帯電話は日本では使用できませんのでご注意ください。

14.12 各国大使館

外務省ホームページでご確認ください。

在日外国公館: www.mofa.go.jp/about/emb_cons/protocol/index.html

大使館・領事館: www.mofa.go.jp/about/emb_cons/over/index.html

14.13 ビザ(査証)

日本は現在、68の国・地域に対して査証免除を行っていますが、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために国境の取締りを強化しており、現在は一部の地域を除いて停止中です。訪日を開始する前に、居住国の日本大使館または領事館にお問い合わせください。また、外務省のホームページで日本への渡航に関する最新情報をご確認いただくか、お住まいの国や地域の日本大使館・総領事館にお問い合わせください。www.mofa.go.jp/ca/fna/page25e_000326.html。

14.14 新型コロナウイルス(COVID-19)感染症に伴う入国制限について

新型コロナウイルス感染症対策に関する入国制限については、外務省のホームページをご参照ください。http://www.mofa.go.jp/p_pd/pds/page22e_000910.html

14.15 新型コロナウイルス感染症対策

ラリージャパン運営事務局は、新型コロナウイルス感染症対策への取り組みを後日発表予定です。すべての競技参加者はガイドラインに従ってください。